

運動広場の冬季整備

運動広場は、3月の第3土曜日から11月末までは主に野球場として利用し、12月から2月末まではサッカーやラグビー場として利用しています。年間を通じて多様な利用が成されますが、日常の整備では実施できない芝生の育成や表面排水の調整などの作業を行うために3月の前半は整備期間としています。

今年の作業は、フェンスの基礎コンクリート部や内側の腰壁およびベンチ座板の再塗装、芝生の育成作業、ファールライン部分の除草などを行いました。暦の関係で今年の整備期間は14日間と短かったので、2月中から利用のない日にも整備作業を始めることにしました。



左の写真は、運動広場バックネット部分の作業前のものです。フェンスのネットや支柱から流れ出したサビがコンクリートの基礎部に垂れ込んで、縞模様になっていました。

再塗装の作業は、まず、塗装自体やサビなどをかき落とし、塗料の接着力を上げるためのシーラーと呼ばれる下塗りを行った後に塗装を行いました。こうした下準備をしっかりと行っているの、作業後の出来栄えは見違えるようです。

右の写真は、内側の腰壁とベンチの状態を撮りました。腰壁は衝突時の安全を保つために壁面に緩衝材を貼り、シートで覆ってあります。その塗装が劣化してすすけた状態になっていました。そこを外壁と同様に表面を掃除し、シーラーを塗布してから塗装しました。色もボールが見やすいように深緑に統一しました。

ベンチの座板の塗装も劣化していたので、架台から外して塗膜を削り落とし、シーラーを塗ってから塗装しました。



左の写真は、芝生の中に残っている枯れた茎や根などを鋼製の熊手で掻き出している状況です。この作業によって芝の新たな芽が育ちやすくなります。この作業に続いて、5cmの長いスパイが多数付いた下駄を履いて芝生に穴を置けました。この作業も育成には欠かせないものです。さらに、肥料を撒き、黒土と砂を混合したものを表面に薄く撒いて作業を終えました。

これらの作業は、想定どおり14日間では終えられなかったため、2月中だけではなく、利用を再開した3月半ば以降も利用のない日に行いました。

この冬季整備作業により、約1年間、野球やサッカーなどを気持ち良くプレイしていただき、当施設を満喫してもらえれば幸いです。